

歯科におけるコロナ禍の影響と経営

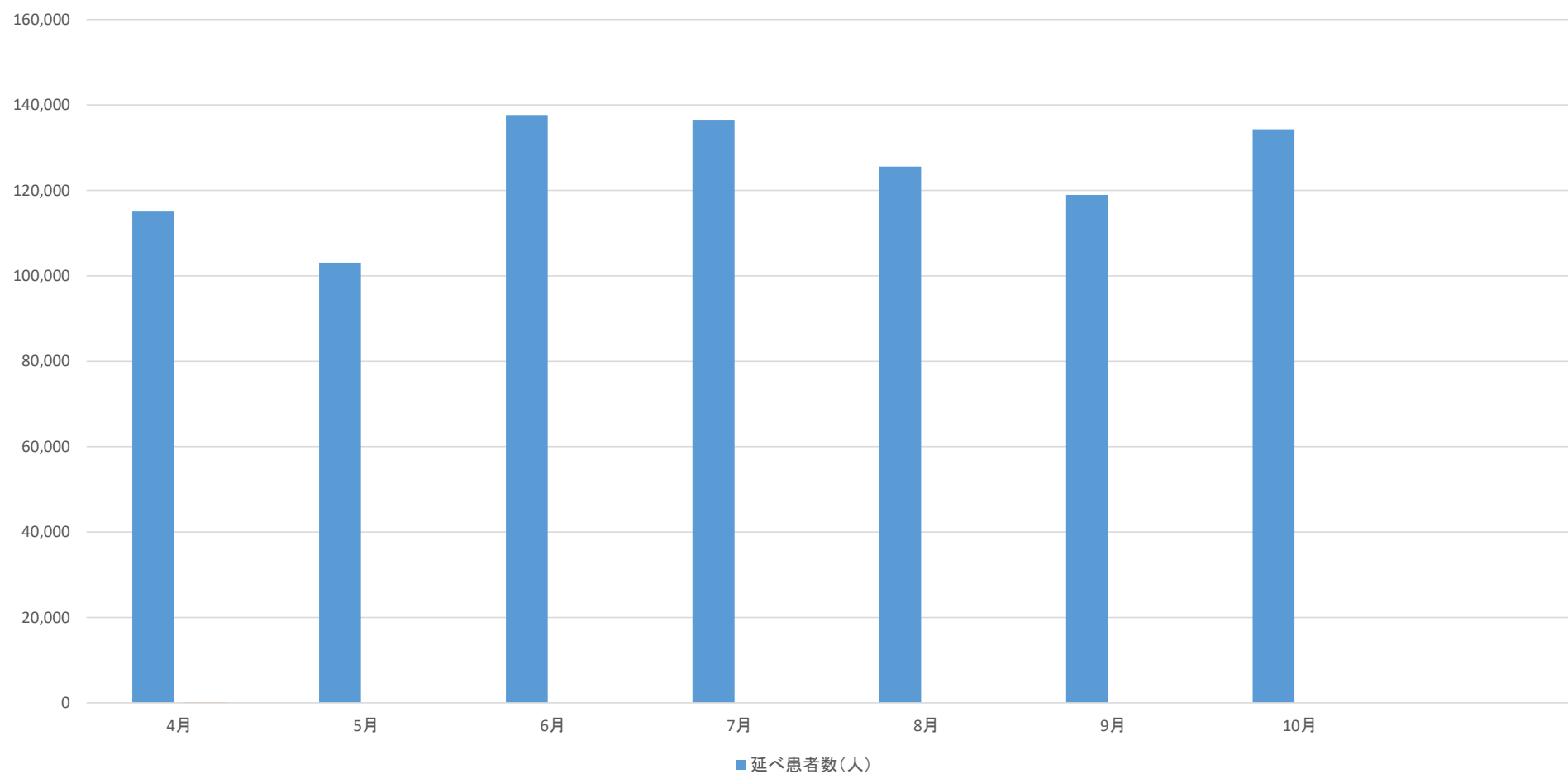
～フレイルと口腔管理へ～



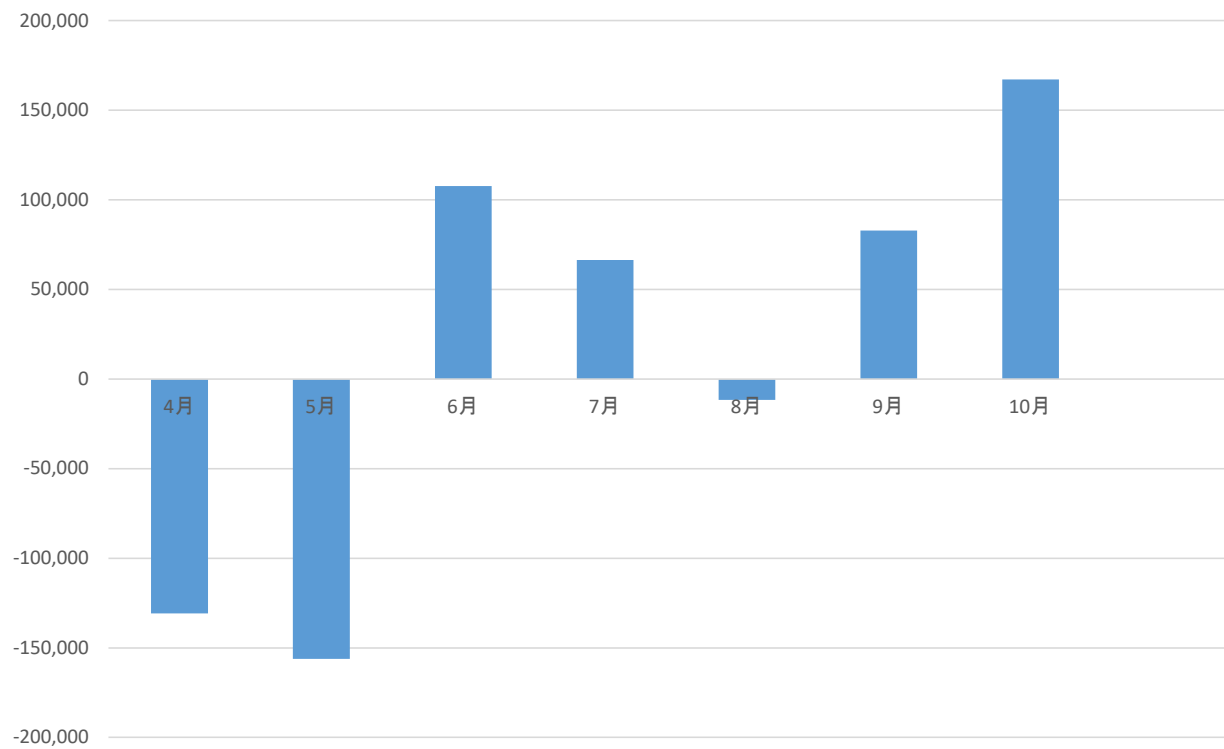
第14回学術運動交流集会

あすかい歯科 前野

全国の状況 延べ患者数の推移



全国の状況 経常利益の推移



2020年度上半期経営実態調査報告から

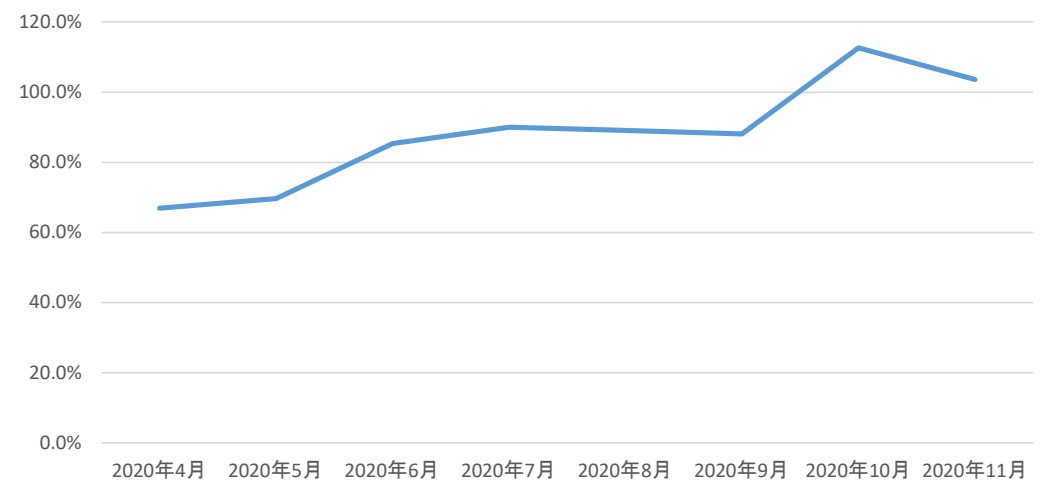
- 全国114事業所合計で、▲25,700千円余の赤字（前年236,200千円の黒字）。
- 黒字事業者数58（比率50.9%）。黒字増加事業所18、減少35
赤字⇒黒字5事業所
- 赤字事業所56（49.1%）。赤字額減少事業所9、拡大26
黒字⇒赤字22事業所

京都民医連歯科への影響

(患者件数、延べ患者数)

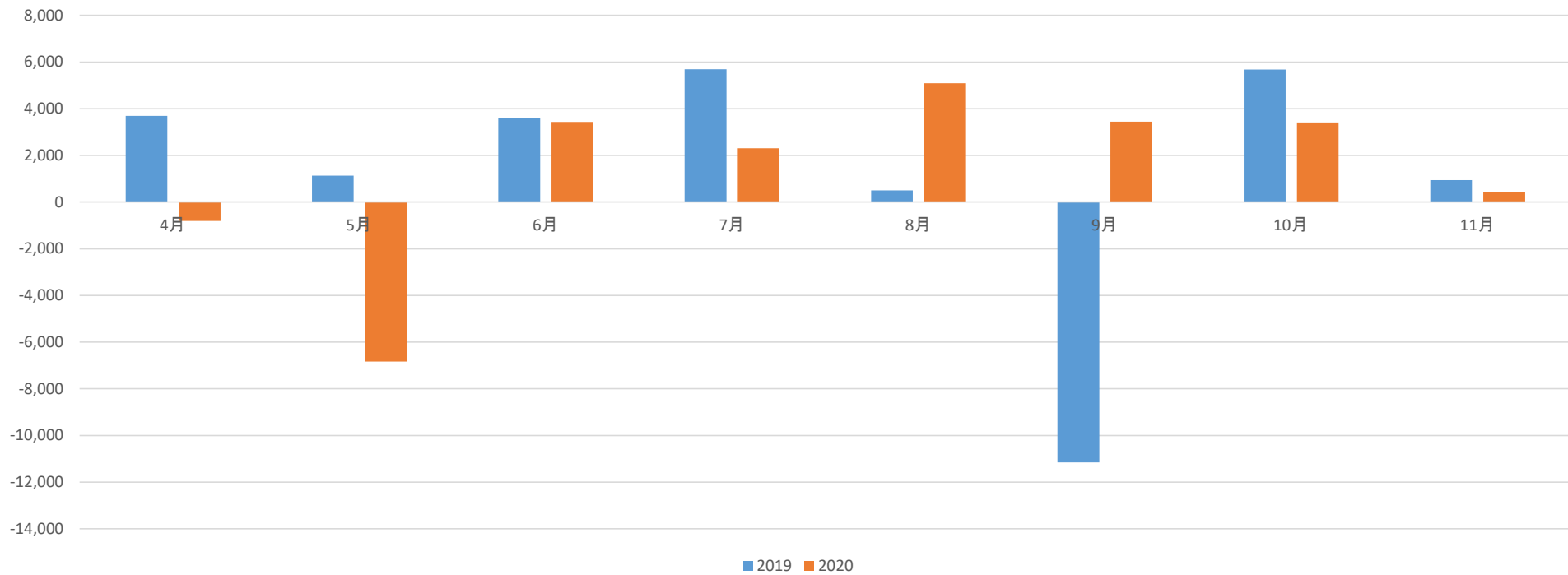
	患者件数	前年比	のべ患者数	前年比
2020年4月	-1347	66.9%	-2119	69.6%
2020年5月	-1235	69.7%	-1949	71.1%
2020年6月	-606	85.4%	-726	89.6%
2020年7月	-427	90.0%	-720	90.3%
2020年8月	-464	89.1%	-1204	83.7%
2020年9月	-446	88.1%	-536	91.3%
2020年10月	473	112.6%	986	116.0%
2020年11月	145	103.6%	-49	99.3%

コロナウイルス拡大に伴う歯科への影響(患者件数)



京都民医連歯科への影響

(経常利益の推移)



京都民医連歯科への影響（概観）

- 京都の6事業所共通して、新型コロナウイルスの影響で4～5月は患者数や収益は前年比70%～80%くらいにダウンしたが、6月以降90%台くらいまで回復してきた。患者さんの電話訪問なども開始。コロナ対策としては、フェースシールドやビニールエプロンの着用、次亜塩素酸水での消毒や、診療前の患者さんの検温などの徹底を行っている。診療前のイソジンのうがいを行っている事業所もある。
- 京都未来学園の2020年度の臨床実習受入れは6月は中止となったが7月からは実施している。後継対策の取り組みとして例年開催してきた高校生1日歯科衛生士体験や歯科衛生士専門学校生対象の就職見学会などは中止の判断とした。

あすかい歯科 2020年度上半期まとめ

2020年度上半期患者動態

- 患者件数は4,568（月平均761）（前年5,250月平均875件、前年比87.0%）、のべ患者数は6,935（月平均1155）（前年8,154、月平均1,359、85.1%）。新患は月平均21.6（前年は28.7件75.2%）と新患数は減少傾向の結果。
- 再初診患者も66.3件（前年月79.8件83.0%）と前年比で下回った。
- コロナ感染禍での患者の受診控えは4月5月でピークとなったが6月以降も90%台前後で推移している。
4月（件数79.4%、のべ患者77.8%）5月（78.8%、77.0%）6月（88.2%、91.5%）7月（88.6%、81.5%）8月（91.8%、86.6%）9月（93.5%、94.5%）
- 昨年度と比べて、補綴治療・歯周病治療の比率等診療構造的に大きな変化はない。
- 歯周病患者の増大の中で予約が取り難い現状がある。さらに今後の患者確保にむけては内科慢性疾患患者の歯周病対策や口腔機能低下症患者に対する口腔機能管理、また、在宅分野での連携の取り組みが求められる。
- 在宅分野では「嚥下障害」に関する相談も多くなってきている。
- ※保有検査購入機器＝舌圧計、咀嚼機能測定器、口腔乾燥測定器、咀嚼機能検査器

あすかい歯科 2020年度上半期まとめ

- 昨年度と比べて、補綴治療・歯周病治療の比率は、歯周病治療にさらに比重が増えていく傾向にある。
- かかりつけ医強化型歯科診療所の施設要件を満たした2016年度下半期以降は、歯周病安定期治療患者を意識的に拡大してきた。歯周病安定期治療（Ⅰ）の登録患者は約600（前年同期＝560人）、歯周病安定期治療（Ⅱ）の登録患者は185人（前年同期＝165人）＝785名などとなっている。

強化点＝医学管理の強化

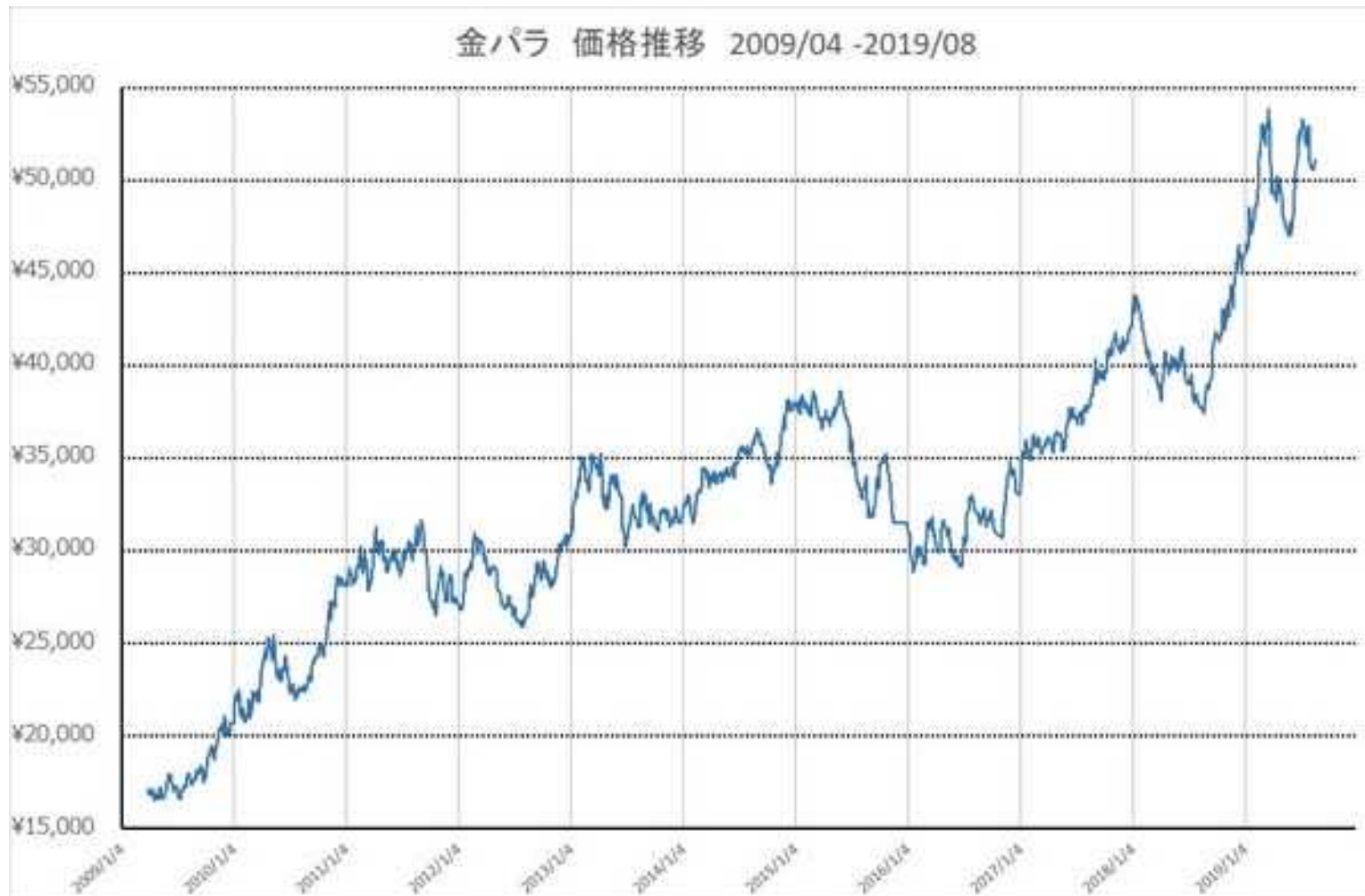
- ＊口腔機能管理加算 上半期算定人数＝111人（前年181人）
- ＊エナメル質初期う蝕加算 上半期算定人数＝62人（前年84人）
- ＊SPTⅠ 上半期算定人数＝280人（前年316人）
- ＊SPTⅡ 上半期算定人数＝239人（前年245人）
- ＊クラブリ管理料 上半期平均算定件数＝36.6件（前年51.6件）
- ＊CAD 上半期平均算定件数＝15.3件（12.5件）
- ＊ｲﾙ-36.5本（16.6本）、ｸﾗｯ18.0本（21.6本）、前ﾘ-17.0本（18.3本）
- ＊訪問診療Ⅰ～Ⅲ 上半期平均算定件数＝84.3回（目標100回）

あすかい歯科 2020年度上半期まとめ

① 2020年度上半期経営到達

- 事業収益は68,812千円（予算比▲2,360千円）（96.7%）（前年比▲529千円）（99.2%）
- 経常利益は7,719千円（予算比▲485千円）（94.1%）（前年比994千円）（114.8%）
- （自費は1,045千円（前年1,063千円98.3%）
- 事業費用58,455千円（予算比▲2,840）（95.4%）（前年比▲2,231千円96.3%）
- 人件費は42,522千円（予算比▲3,438千円）（92.5%）（前年比92.5%）。
- 材料費は5,040千円（予算比36千円100.7%前年比95.0%）
- 材料費の内訳で大きいのは金パラ12（歯科鑄造用金銀パラジウム合金（金12%以上））の価格高騰（2016年9月：1g=1,023円 2020年9月⇒2,606円）（100g/月：260千円/月）

(閑話休題) 金属価格高騰によるコスト増！



10年で3倍以上に



あすかい歯科で重視していること

医局の覚悟

Dr が率先して学び方針化



意識改革

予約枠の埋まり状況等自分の問題

歯科衛生士の意識

歯周病治療のスペシャリスト

職場で学習（点数改定の方角性）

専門職として歯科衛生士の治療領域の広がり

医科歯科介護連携

NST会議、茶山ラウンド(単位の加算あり)

歯周病メンテナンス

医療活動・経営活動の柱の担い手
歯科の新たな可能性を生み出す

訪問口腔ケア

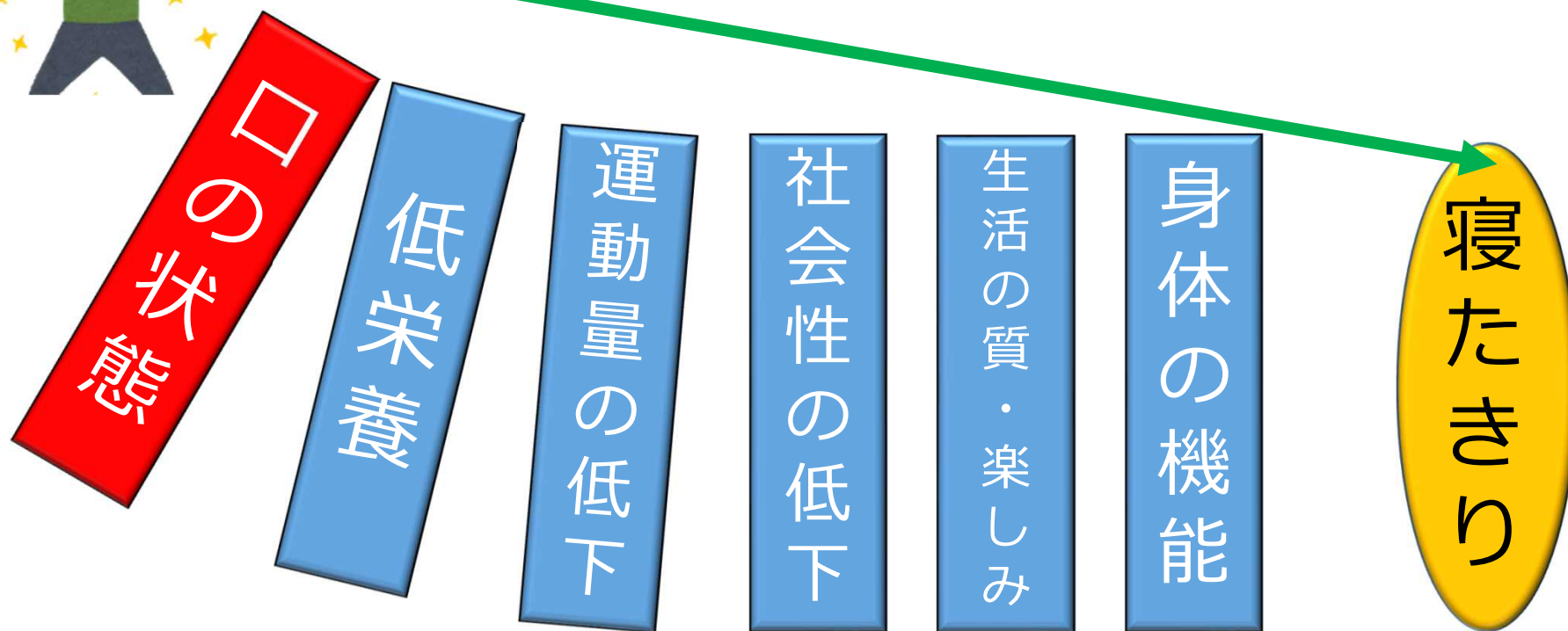
誤嚥性肺炎予防



フレイルの予防・防止が歯科に期待されている

「高齢期の食べる」を支える = ドミノ倒しを食い止める

歯科衛生士、歯科技工士は欠くことのできない存在



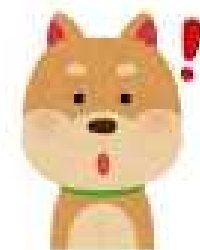
一時期の治療で長期の予後を見込める
最適な治療を行うことができるか？

口腔の状況は変化する
身体の状態も変化する
健康寿命のリミットも考慮

かかりつけ歯科として長期に渡って経過を見ながら
歯周組織や欠損補綴、身体の変化に対応することが大切

歯周病安定期治療
(SPT) に取り組もう！

SPTを軸に口腔全体の管理へ ～スーパーSPT～



SPT

歯周組織の管理

内容のアップデート

カリエスの管理

高齢者の根面う蝕
エナメル質初期う蝕

補綴の管理

補綴は診療部が生み出せる

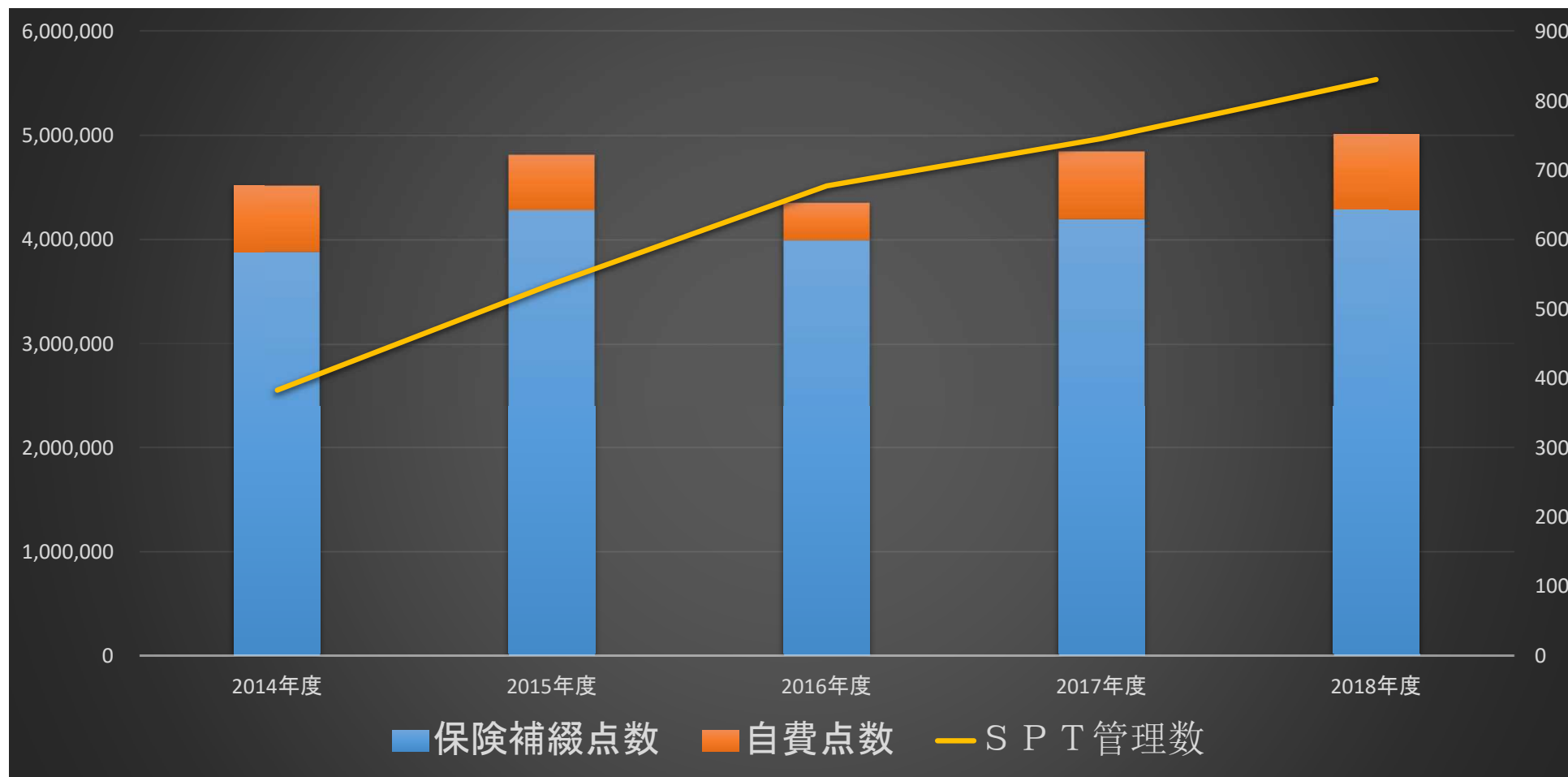
軟組織の管理

口腔がんの早期発見

口腔機能の管理

オーラルフレイルの予防

全国的にもS P Tの組織が進んでいます





経営面でもSPTは欠かせない

- SPT II 380点 550点 830点
- P管理+文章提供 100点+10点
- 特定疾患管理 130点
- 実施指導 80点
- パノラマ 406点
- 口腔機能管理加算 100点
- 舌圧検査 140点
- 咀嚼機能検査 140点
- エナメル質初期う蝕 260点

基礎点

補綴・自費

SPT
(日当点 約1000点)

水物

S P Tで新しい価値観を定着させよう！

歯科は痛くなったら行く所



健康を守るどころ

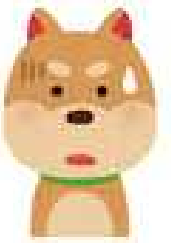
「何も困っていないが、口の健康には
3ヶ月に1回通院し、3000円を払う価値がある」

口も体も健康！



か強診を取得したら
堂々とSPTⅡを算定しよう！

「同じ内容で料金が上がるとクレームがくるのでは・・・」



患者さんは「費用対効果」で判断している。

- ・自分ではできないものを受けたい
- ・安心感、コミュニケーション
- ・口腔、全身健康の維持、トラブルを最小限に



「患者さんが納得する質を提供する」を目標に